

## 超高層ビルは都市をどう変えたか

～霞が関ビル誕生から50年～



大手町・丸の内のスカイライン

2018年は日本で初めて100メートル超えのビル「霞が関ビル」の生誕50年に当たります。これを記念して、日比谷カレッジでは霞が関ビルを始めとした超高層ビルについての講演を開催します。かつて日本では、地震の多いわが国で100メートルを超える建築物は無理と言われていた時代がありました。それから半世紀以上が過ぎた現在、高層オフィスビルやタワーマンションのある風景は今や日常となりました。都内だけで高さ100m超の高層ビルは400棟を数え、都心のスカイラインは大きく変貌しました。東京五輪を控え、超高層ビル開発は今なお活発です。本講演では、高層ビルの歴史や世界の超高層化の動向を踏まえながら、日本で超高層ビルが生まれた経緯や社会的背景とともに、超高層ビルが都市環境や人びとの生活に与えてきた影響、さらには人口減少時代における超高層ビルのあり方について語ります。

### 講師 大澤 昭彦（高崎経済大学地域政策学部准教授）

1974年生まれ。東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻博士課程修了後、財団法人土地総合研究所研究員、東京工業大学大学院総合理工学研究科助教を経て現職。博士（工学）。専門は都市計画、景観計画。近年のテーマは、高層建築物やタワーの歴史から都市を捉え直すこと。講演に関連する著書・論文に「高層建築物の世界史」（講談社現代新書、2015年）、「高さ制限とまちづくり」（学芸出版社、2014年）、「超高層ビルと持続可能性」（BELCA news 28(156)、2016年）、「人類はなぜ高層建築に挑むのか」（「パベルの塔」展公式ガイドブック、2017年）等がある。

### 開催概要

- 日時：2018年5月23日（水）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000円（千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）、来館（1階受付）いずれかにて  
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp  
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341